



スタート会



NO.431

R5年7月1日

-発行-

〒869-1217

熊本県菊池郡

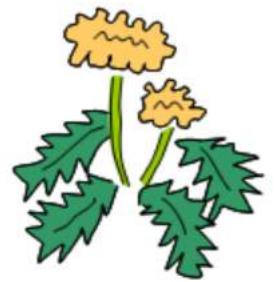
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



「三気の会のスタート会」

部長 松本 慎太郎

去る六月三十日に四年ぶりとなる「スタート会」をいつも通りのスタイルで行うことが出来ました。遡ること二十年前の平成十五年の十二月。利用者さんとスタッフの親睦、そして一年の労をねぎらうために、夜のホテルで百四十人ほどがフルコーズのディナーを頂く「忘年会」をしたことがそもそもこのきっかけでした。そして平成二十年の五月から、お昼に時間帯を移し「スタート会」と名を変えたことが、今の「スタート会」の始まりとなりました。

この三年間はコロナ禍により、外に出ることなく施設内でのイベントの実施を余儀なくされましたが、久しぶりに皆で外出して、しかも百七十六名という人

数での食事会でしたので、楽しみより、緊張と不安がとても強いものになりました。あるスタッフは朝五時まで眠れなかったとも・・・。

当日はその不安を現すようなそれはそれは大雨で、どうなるかと思いましたが、事故なく、無事に終えることが出来ました。

料理は和洋折衷の懐石で、茶わん蒸し、鱸の若狭焼き、赤牛のステーキ、ちらし寿司など八品で、マナーを意識しながら落ち着いて食事を進めることが出来ていました。食事中に四組のステージ発表があり、会場を大いに盛り上げてくれました。個人的には久しぶりだったので何か懐かしさを感じることもあり、円卓を囲んで食事や余興を楽しみ、何かあればスタッフが連携し合い、皆で一体感を作ろうとする雰囲気は何物にも代えがたい時間だったと思います。

この三年間は本当に色々なことがありました。このスタート会を契機に、リニューアルされた三気の会になることが出来ればいいなと思います。



7月



1班「彼を知り己を知れば」

中国の兵法家、孫子の思想の中に次のような言葉があります。「彼を知り己を知れば、百戦殆うからず」。これは「自分と周囲の情報を把握していれば、計画は上手くいく」と捉えることが出来ます。兵法において情報とは、作戦を立てる上で一番重要な物であり、どの兵法家も周囲の情報を知らずに戦いを始めるのは無謀でしかないと伝えています。この言葉は、福祉の世界にも言えることだと感じています。

私は三気の里で働き始めて8年目ですが、今年度初めて班の異動を経験しました。これまでも生活場面では1班の利用者さんとは関わってきましたが、いざ所属となると、今まで見えなかった利用者さんの行動、サインを目にしました。一人ひとりの特性をしっかりと理解していれば、訴えに気付くことができると思います。今後も関わっていく中で十分な情報を取り入れ、より相手を知り的確な支援を行えるように準備したいと思います。

支援員 清田 健士郎



2班「フレ！フレ！2班！」

2班では、ひと月を通して利用者の皆さんの「月間目標」を決めています。作業棟に掲示された目標を、作業が始まる前に一人ひとり確認することが私の中での日課です。目標に向けて頑張っている方には「頑張っていますね。」の声を、達成することができたら「頑張りましたね。」の声を、たくさんの利用者の方に届けられるようになりました。

担当のIさんの目標は、作業が終わった後に「パズル課題をすること」です。最大で50分もの時間、ひとりでパズルに没頭するIさん。この集中力はIさんの大きな強みです。完成したらIさんとハイタッチをします。「すごいです！頑張りましたね。」と声を掛けると、とても達成感のある表情を見せてくださいます。そんなIさんの姿に様々なスタッフも声を掛けます。次々と応援の輪が広がっていくように感じる一幕でした。そんな日々の皆さんの頑張りをこれからもサポートし、応援していく支援員でありたいです。

支援員 伊藤 愛理

3班「利用者さんの歴史」

Aさんは写真を撮るのが大好きです。外出や散歩の際はご自身のカメラを必ず持って行き、植物や風景を撮ったり、スタッフと一緒に撮ったりされます。これらの写真は、現像しアルバムにして大事に保管されています。アルバムを広げては、「このレクリエーションは温泉に行って楽しかったな〜。」「この時食べた日本料理はとってもおいしかったよ。」とお話ししてくださいます。一緒にアルバムを見る時間は、Aさんがどのような経験をしてこられたのか、何を見て何を思ったのか、Aさんの歴史を知るヒントになります。

Aさんは今年で71歳。一つひとつの写真に沢山の思い出があります。まだまだ全てを聞くまでには到達出来ていませんが、ゆっくり時間をかけてAさんの歴史をお聞きしたいと思います。

支援員 小林 奈央

4班「いつまでも」

三気の里男性利用者さんで最年長のAさんは今年で68歳になります。動きの緩慢さが徐々に目立つようになってきたことを危惧し、2年半程前から下肢筋力強化の運動に取り組み始めました。

1年後に体力測定を行うと、5m歩行、TUG(timed up&go testを略したもので、椅子に座った状態から開始して立ち上がって歩き出し、3m先の目印で折り返してスタート前の座った姿勢に戻るまでの時間)、開眼片足立ちなど、取組前よりも好タイムを出すことができました。また、運動会では、「走るの危険だから」と、近年は玉入れに参加していたのですが、去年は久しぶりに徒競走に出場し、見事に最後まで走り抜けることができました。

Aさんの普段の頑張りを見ていた多くのスタッフからの歓声を受けてニヤリとしているAさんに、「80歳まで徒競走に参加しましょうね。」と話すと、今度は大きく口をあけて会心の笑みを見せてくれました。

支援員 高橋 一精



5班「班をこえて」

毎週金曜日の午後は、創作活動やカラオケや体操などを行っています。その中で私は、5班だけでなく、色んな班の色んな人の絵を1つのキャンパスにまとめてみたい！と思い立ち、キャンパスを片手に各班を回ることにしました。皆さん、初めはなんだ？！と言っているかのような表情をされていました。マジックを渡すとキラキラした目をされ、ジュースを描かれる人、野球の帽子を描かれる人、動物や人間の絵を描かれる人、乗り物やサザエさんのような味のある絵を描かれる人がたくさん近寄ってこられました！四方八方から描いた絵には、あえて色はつけていません。三気の里を代表する画家たちの作品として、魅力ある第1作目が出来上がりました。

支援員 玉永 咲希

療育雑記

「点から線へ」

～チームで支援を繋げる～

支援課長 岩田 幸児

入所施設の支援は、24時間^{365日}休みなく続きます。支援員の勤務は、早朝からの勤務やお昼から、夕方から翌日の朝までの勤務など、不規則で交代しながら利用者さんの支援にあたります。不規則勤務は、利用者さんのあらゆる生活場面や作業場面の様子を把握できるメリットがある反面、強化したいポイントでの支援を連日同じ場面で繰り返し、積み重ねていくことが難しいことがデメリットとして挙げられます。

このデメリットをクリアするには、支援員間での支援の必要性と支援のポイントを共有することが重要になってきます。

私の所属グループでは、利用者さん個々の月間支援目標を掲げています。利用者さん個々の目標を支援員チーム(以下チーム

で共有した上で支援し、同じような声かけや支援を行い、皆で評価できるようにしようということですが、

例えば、作業場面での課題を目標にして取り組みを実施しようとした場合、担当支援員が作業時間以外の時間帯での勤務であったり、別の作業班での支援に配置されたりと、目標を掲げたものの、直接作業場面での支援が出来ないことがあります。担当支援員だけで取り組もうとすると、取り組みたい場面での支援が断続的になり、期待通りの成果や結果に繋がりが辛く、支援員としてもどこかしさを感じてしまいます。しかし、チームとして目標や支援の必要性と支援のポイントを共有することによって、担当の支援員以外の支援員を含めて目標に応じた支援を実施することが出来ます。

利用者さんの立場で考えると、多数の支援員から、同じ場面で支援を受け評価される。色々な人から声をかけられ、できたことを評価し、褒めてもらえることとなります。

Aさんは、着脱衣は自立され

ていますが、自分で肌着を入れようとする意識が希薄で、目標を「身だしなみを整える(肌着の裾をズボンに入れられるようになる)」としました。「Aさん、肌着を入れましょうね」の声かけに、自分で肌着を入れようと思わず、目に見える前方は入れやすいようですが、見えない背中側までは意識を向けられない。Aさんが入れようとすることを評価し、背中側は手を添えて動きと感覚を伝えるところから始めました。

キャリアの浅い支援員には、

私が支援している所を目の前で見てもらい、支援の必要性とポイントを伝えていきました。そうしているうちに、他の生活場面でも、色々な支援員が「Aさん、肌着を入れましょうね」と声をかけている場面を目にする

ことが増えていきました。そして先日、Aさんが肌着を背中側迄しっかり入れていた様子を目にしました。近くにいた支援員に確認すると声を掛けなくても自らされていたとのことでした。これまでも同じような声かけや支援をしてきました。しかし

ながら定着し辛くもどかしかったことも、チームとして目標に掲げ、チームの共通認識として意識しながら支援し、評価してきた支援チームとしての強みを活かした一つの結果かもしれませぬ。

私の今の目標は、「Aさん、肌着を上手にいれられるようになりましたね!」「Bさんの支援は、こうした方がもう少し上手く伝わるかもね。」など支援員間での支援に関する会話にあふれた日常の雰囲気を作ることです。

利用者さんができることを伸ばせるような支援を考え実践していく中で、支援員個々のスキルや考え方が伸びていく。利用者さん、支援員がともに成長出来るような環境をつくれるようにしていきたいと思えます。



Q&A 便り

「Tさんから教わったこと」

世話人 櫻井 照美

6月21日にいつも通り就寝されたTさん、と思いきや居間に来て「今日は夏至よ。夏に至ると書いて夏至。明日から夏よ。」と言われ部屋へ戻られました。調べてみると、ほんと！Tさんに教わりました。朝からテレビを見ていれば知り得たでしょうし、Tさんとの会話も弾んだのではないかと自分のアンテナ不足に反省です。

随分と前の出来事になります。ある利用者さんが漢字ドリルをされていた時、ふじ（山）と書く問題がありました。その利用者さんが「ふじさんってなに？」と聞いてこられ、何と説明しようかと思つた時に「ふじはにっぽんいちのやま」と後ろからTさんの歌声が聞こえてきました。その通り、日本で一番高い山のこと。Tさんの広い知識に驚かされました。私も話題が豊富になるように常にアンテナを張り巡らせ、利用者さんと楽しい言葉のキャッチボールを増やし、和める雰囲気作りをしていきたいと思つています。

基幹相談支援員

「大津町障がい者基幹相談支援センターのご紹介」

センター長 浦田 裕之

大津町障がい者基幹相談支援センターは、令和4年8月1日、大津町役場1階「ふくしの相談窓口」に設置されました。現在、障がい者基幹相談支援センターは、全国の市町村に50%ほど設置されており、今後設置数は増えていくと予想されています。

それでは、当センターのご紹介をさせていただきます。当センターでは、地域の相談支援の拠点として総合的・専門的な相談支援を行っています。障がいのある方・そのご家族等からお話を伺い、福祉サービスに関する助言をはじめ、就労、ひきこもり、不登校、権利擁護・虐待など、相談の内容は多岐にわたります。実際には、ご本人等の困り事や課題を整理し、解決するための見通しや次につながる支援をさせていただいています。また、当センターの特徴としては、大津町役場内に設置されていることもあり、同フロアの課・部署（福祉課、地域包括支援センター、子育て支援課、ふ

くしの相談窓口：等）と速やかに連携することができ、スピーディな検討・対応ができる強みがあります。大津町役場に来られた際には、お気軽にお声掛け下さい。



BEETREE

「やりがい」

支援員 有馬 幸奈

BEETREEでは、絆創膏作業、電子部品関連の作業、ピーナッツの皮むき、牛乳パック開封に加え、臨時の作業など、常時4種類程の仕事を12名の利用者さんで分担し、日々取り組まれています。工程ごとに細かく分けると、一人ひとりが別々の仕事を、役割を持って頑張られています。中には「午後はあの仕事がいいたい」「この仕事は飽きた」と感じている方もいらっしゃいますが、納期に向けてペースや確実性を重視すると、どうしても同じ作業になっていく方も少なくないため、「やりがい」を感じられているのだろうか、と私自身心配になったり申し訳なさ

を感じたりしている部分がありました。しかし、先日受けた研修において、楽しいことばかりではない仕事をしていく中で「これが「やりがい」だということ伝える」ことの大切さを教わり、改めてそれぞれの認知や特性に配慮して利用者さんと向き合っていくことが大事なのだと思ふことができました。日々頑張られている皆さんに感謝の気持ちを伝えつつ、「この人と一緒に頑張れそうだ」と思ってもらえる支援者になれるよう努力します。



7月スケジュール

3(月)SW実習(4班)～8月10日まで
 8(土)家族連絡会
 11(火)利用者給料日
 12(水)かくたつ研修、全自者協(理事長)
 13(木)全知協(理事長)～14日
 14(金)夏祭り
 15(土)4R白川
 19(水)誕生会
 20(木)囑託医診察
 25(火)強行研修～26日

27(木)さんきマーケット
 28(金)ゴールドクラブ
 29(土)熊本県・市連携発達障害に関する講演会
 31(月)2班レクレーション
 毎週月曜日 訪問理容サービス
 毎週火曜日 BeTREE役場販売

BeTREE
 <営業時間>
 8:00～18:00

betree314



スタート会



【ボランティア】
 前淵隆子様(ブラッシング指導)

【後援会ありがとう】
 竹下 英毅様 坂田 實様
 甲斐 真史様 魚谷 郁子様
 寺本 征史様 柴田 精三様
 坂田 栄子様 井上 ちえ子様
 坂梨 清美様 山崎 日出男様

【物品】
 魚谷 秀文様 坂田 實様
 田中 満子様 金森 保様
 宮本 眞一様 中村 秀隆様
 櫻木 勇夫様 児玉 静子様
 清田 栄一様 中原 喜徳様
 渡邊 正司様 赤星 央子様
 松村 俊介様 西村 真由美様
 坂田 安信様 東坂 富士代様
 森川 琇介様 井手上 昌子様

